

カヤツリグサ科カヤツリグサ属の多年草。ほとんど全世界に分布し、日本では関東以西の本州、四国、九州の海岸の砂浜、河原、畑地、原野、路傍など日差しが強いところでよく生育する。細長い地下茎が横に長く這い、先端に塊茎をつけ、塊茎から高さ20～40cmの稈が直立する。艶のある深緑の根出葉をよく発達させる。晩夏から花茎を出し花序をつけ、線香花火のような花穂を広げる。小穂の鱗片は血赤色、葉と同じように小穂にも艶がある。畑地に入ると害草として防除にてこずるが、畦などでは背が高くないのであまり問題にはならない。路傍ではアスファルトを突き破っているのを見ることがある。

日本在来種で、古くから目の前にあったはずであるが目立つ草ではないので取り立てて記載されることはなかった。古事記にも万葉集にも出てこない。とはいえ「菅」ならば古事記に1首、万葉集では「山菅」として14首、「菅の根」として18首が詠われている。この菅が何であったのか、10世紀初頭に編纂された「本草和名」に生薬の「麦冬門」の和名が「山菅」であるとの記載があったことから、万葉集の歌のほとんどがそのように解釈された。しかし、牧野富太郎を始めとして「山菅」が何

かということについて諸説あり、最近では、山菅は *Carex* 属 (スゲ属) というのが有力とされている。仮に、山菅がスゲ属であるとするなら、万葉集の歌はハマスゲではないことになる。

「本草和名」にはさらに記載があり、「莎草香附子」がハマスゲだということである。中国の本草書では、ハマスゲの塊茎が生薬の「香附子」として使われ、植物体も「莎草」として利用されているということであった。その「莎草香附子」が日本の古典に記載があるかを探してみると、「出雲国風土記」にその記述が見つかる。

「出雲国風土記」は現存する風土記の中でほぼ完全な形で残っているとされる最古のものであるが、その中の「島根郡」の海岸地形に記載される「蛭蛸嶋」(今の大根島)に、ハマスゲが「莎」として初めて登場する。栽培していたのか他の草に紛れていたのか、風になびく草の中にハマスゲもあり、当時の出雲の人たちはその塊茎を薬草や食料として利用していたのでは、と思う。さらに、奈良の正倉院から薬草としての香附子が見つかってもある。日本在来であるハマスゲは古くから西南暖地で利用されてきたのである。

統計データから

令和2年産大豆の生産費

農林水産省は令和2年産の大豆生産費を公表(令和3年8月27日)。それによると、個人経営における10a当たり資本金・地代全額算入生産費(全算入生産費)は全国平均では6万7,195円である。うち北海道は7万4,075円、都府県は5万7,278円である。また、60kg当たり全算入生産費の全国平均は1万9,510円で、北海道は1万7,345円、都府県は2万5,415円である。一方、組織法人経営における全算入生産費は5万6,105円で、60kg当たり全算入生産費は2万3,445円である。

表-1には、それぞれの経営体における生産概況を示した。1経営体当たり作付面積は北海道の個人経営が約460a、都府県では約370a、組織法人経営では約1,200aとなっている。

表-2には、資本金・地代等を含まない農産物の生産に要した材料(種苗、肥料、農業薬剤、光熱動力、その他の諸材料)、土地改良及び水利費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、労働費(雇用・家族(生産管理労働を含む))、固定資産(建物、自動車、農機具、生産管理機器)の財貨や用役等を合計した「生産のために消費した経済費用」を示した。北海道における個人経営では、農機具費が21.0%、次いで労働費17.2%の順である。

一方、都府県における個人経営では労働費が24.3%、次いで農機具費の20.0%となる。組織法人経営では、労働費が23.2%、農機具費が20.1%を占める。なお、いずれの経営でも賃借料及び料金が15～16%を占め第3位である。(K.O)

表-1 大豆の生産概況

区分		経営耕地面積 (a)	1経営体当たり 大豆作付面積 (a)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 労働時間 (hr.)
個別経営	北海道	3,436	458.1	256	5.83
	都府県	1,422	368.2	135	7.27
組織法人経営		5,191	1,241.6	143	6.74

表-2 大豆の10a当たり生産費(物財費と労働費)に占める主要品目の構成割合

区分	単位	物 財 費							労働費	費用合計	
		種苗費	肥料費	農業薬剤	光熱動力	賃借料及び 料金	農機具費	その他			
個人経営	円	51,531	4,578	7,853	7,386	2,571	9,206	13,080	6,857	10,700	62,231
(北海道)	%	82.8	7.4	12.6	11.8	4.1	14.8	21.0	13.3	17.2	100.0
個人経営	円	34,812	2,914	3,927	5,238	1,683	7,543	9,192	4,315	11,200	46,012
(都府県)	%	75.7	6.3	8.5	11.4	3.7	16.4	20.0	12.3	24.3	100.0
組織法人経営	円	35,583	3,511	4,295	5,676	1,903	6,899	9,310	3,989	10,742	46,325
	%	76.8	7.6	9.3	12.2	4.1	14.8	20.1	8.6	23.2	100.0